

第6回在宅リハビリテーション研究会 【 演題募集要項 】

(1) 募集期間

2023年8月25日(金)～2023年11月17日(金)23時59分

(2) 募集演題

当日:オンラインでの一般口述演題(研究発表, 症例報告, 活動報告のうちいずれかを選択)

(3) 応募資格

公益社団法人広島県理学療法士会会員

※演題発表ポイントの付与はありません。

(4) 発表時間

発表 10分

質疑応答 5分 計 15分

質疑応答や討論の時間を大切にしますので, 当日の状況により若干変更する場合があります。

(5) 応募方法

① 以下の内容をご準備下さい。

【演題登録の必要事項】

1. 演者氏名(ふりがな), 所属, 職種
2. 理学療法士の方は日本理学療法士協会会員番号(8桁)
3. 連絡先(所属), 郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, 電子メールアドレス
4. 演題に関する情報
5. 演題内容:研究発表・症例報告・活動報告
6. キーワード:3つ(最終ページ【付録】の演題発表キーワード例をご覧ください。)
※登録された内容は, 当会運営以外の目的で使用することはありません。



② 以下のE-mailアドレス宛に抄録を提出

E-mailアドレス	zaitakureha.hiroshima@gmail.com
抄録提出担当	兼田 健一
メール送付時の件名	第6回在宅リハビリ研究会 演題応募 応募者の氏名

※ ご注意 ※

本研究会に関する上記案内通知はメールにて「zaitakureha.hiroshima@gmail.com」で届きます。このメールを受信できるよう, ドメイン設定を解除していただくか, 又は受信リストに加えていただきますようお願い申し上げます。また, 携帯電話キャリア(キャリアメール)のアドレスの使用はお控えください。キャリアメールのアドレスを登録されている場合に当会からの案内が届かない, または届いていなかった場合の対応については責任を負いかねます。

(6) 抄録の作り方

① テンプレートを広島県理学療法士会ホームページよりダウンロード(以下のリンクからもダウンロードできます)。
広島県理学療法士会のホームページ > 在宅リハビリテーション研究会 > 抄録テンプレート

1. 研究発表用テンプレート
2. 症例報告用テンプレート
3. 活動報告用テンプレート

② 抄録の形式と作成時の注意点(原則①のテンプレートをご使用ください)

形式:Wordのみを受け付けます。PDFなどに変換せずご提出下さい。

文字数:文字数はタイトルと副題で50文字以内, 本文は800～1200字以内

フォント:演題名のみ MS ゴシック, 12ポイント, 本文は MS 明朝, サイズは 10.5ポイントとします。

③ 抄録内容について

演題内容に応じて, 作成頂く抄録の流れが異なります, ご注意下さい。キーワードの記載をお忘れないうご注意下さい。一度提出されてからでもパワーポイント, 修正は可能です。

研究発表	【目的】	【方法】	【倫理的配慮】	【結果】	【考察】	【結論】
症例報告	【はじめに】	【倫理的配慮】	【症例紹介】	【経過】	【考察】	
活動報告	【はじめに】	【活動状況】	【今後の課題】	【発表の意図】		

(7)採否までの流れ

- ① 当研究会のメールアドレスから, 演題応募後, 受付確認の返信メールをいたします。
※1週間以内に受付確認メールが返信されない場合はお手数ですがご連絡下さい。
↓
- ② 査読
↓
- ③ 採否決定のご連絡

(8)査読について

- ① 採点: 査読者は演題分類ごとに以下の項目について査読を行います。

研究発表	演題名	演題名は発表内容を十分に表現しているか。
	キーワード	キーワードは適切か
	目的	目的が明確に述べられているか。研究の必要性が明確に述べられているか。
	方法	計測・評価方法は適切か。追試しやすいように記載されているか。介入(治療)研究の場合, その内容が記載されているか。
	結果	客観的な結果(データ)が記載されているか。
	考察	研究目的と考察との一貫性があるか。論理的飛躍がないか。
症例報告	演題名	演題名は症例内容を十分に表現しているか。
	キーワード	キーワードは適切か。
	症例紹介	症例を理解するための情報が記載されているか。
	経過	客観的な経過が記載されているか。
	考察	論理的飛躍がないか。
活動報告	演題名	演題名は活動内容を十分に表現しているか。
	キーワード	キーワードは適切か。
	活動状況	活動を理解するための情報が記載されているか。
	今後の課題	論理的飛躍がないか。

② 倫理的配慮・個人情報保護など

いずれの演題においても, 倫理的配慮・個人情報保護に関する記載は必須です。

「活動報告」では, 反社会組織による活動, 宗教的信条に基づいたものでないこと, 活動内容に公益性があり営利目的でないことが必須です。

- 1) 公益社団法人広島県理学療法士会で定める「個人情報保護に関する規定」および「論文および学会・研究会・検討会等での発表における患者プライバシー保護に関する規定」を遵守してください。
- 2) 「ヘルシンキ宣言(人間を対象とする医学研究の倫理的原則)」に基づき対象者の保護には十分留意し, 演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合にはその旨を抄録中に記載してください。
- 3) プライバシーの侵害や人体に影響を与える発表に関しては, 対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記してください。抄録中に倫理的配慮に関する記述がない場合には登録できませんので注意してください。
- 4) 応募演題に関する利益相反 (Conflict of Interest: COI) について
第6回在宅リハビリテーション研究会では, 発表者は COI についてテンプレートを参照いただき, 発表時に必ず開示をお願いします。

【申告すべき事項と条件】

1. 臨床研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体(以下、企業・組織や団体という)の役員、顧問職については、1つの企業・組織や団体からの報酬額が年間 100 万円以上とする。
2. 株式の保有については、一企業あたり 1 年間の株式による利益(配当、売却益の総和)が 100 万円以上の場合、あるいは当該全株式の 5%以上を所有する場合とする。
3. 企業・組織や団体からの特許権使用料については、1つの権利使用料が年間 100 万円以上とする。
4. 企業・組織や団体から、会議の出席(発表)等、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料など)については、1つの企業・組織や団体の総額が年間 50 万円以上とする。
5. 企業・組織や団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料については、1つの企業・組織や団体の総額が年間 50 万円以上とする。
6. 企業・組織や団体から提供される研究費については、1つの企業・組織や団体から臨床研究(受託研究費、共同研究費など)に対して支払われた総額が年間 200 万円以上とする。
7. 企業・組織や団体から提供される奨学(奨励)寄付金については、1つの企業・組織や団体から、申告者個人または申告者が所属する部局(講座・分野)あるいは研究室の代表者に支払われた総額が年間 200 万円以上の場合とする。
8. 企業・組織や団体から提供される寄付講座に申告者らが所属している場合とする。
9. その他、研究とは直接無関係な旅行、贈答品などの提供については、1つの企業・組織や団体から受けた総額が年間 5 万円以上とする。

③ 採否の決定

演題の採否は、査読結果をもとに当研究会の審査を経て最終的に準備委員長が決定します。

④ 本査読ポリシーにご同意頂かないと、演題登録ができません。

(9)応募上の注意点

- ① 応募された演題と研究会当日の発表内容が大きく変わることがないようにしてください。
- ② 筆頭演者としての応募は1人1題とします。
- ③ 演題申し込みにあたっては、共同演者の了解を得た上で応募してください。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負うことをご承知ください。
- ④ 演題募集期間終了後の演題の取り消しはご遠慮ください。

(10)演題が採用された方へ

- ① 演題が採択されましたら発表演者は、参加申し込みが必要です。
- ② Web を使用しディスカッションが行えるパソコン、また、機器環境によりマイク、ヘッドフォン等の通信に必要な機器を自身でご用意できる方に限らせていただきます。事前にご用意できることを確認のうえ申し込みしてください。なお、ディスカッションは Zoom ミーティング を使用いたします。
Zoom ミーティングインストール <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
- ③ Zoom 使用にあたってパソコンの OS は、Windows は Windows10 以降のもの、Mac は macOS X, macOS10.9 以降のものを推奨しています。また、CPU デュアルコア 2Ghz 以上、メモリ 4GB 以上を推奨します。使用予定の PC でのスペックで対応可能かどうか確認が必要な方は、演題登録前に下記の「問い合わせ」先へご連絡ください。なお、右 URL の案内もご参照ください。 <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>
- ④ 発表者のみなさまと座長のみなさまには当日までに、実際に Zoom を利用したリハーサルを予定しております。リハーサルの詳細が決定いたしましたら、後日、メールにお知らせいたします。
- ⑤ 発表当日、発表者の Web 回線トラブル等により演者が参加できなかった場合は、当会準備委員が、事前にお送り頂いているパワーポイント等のデータを再生させていただきます。

お問い合わせ

広島県理学療法士会
在宅リハビリテーション研究会 加藤英記
Email : zaitakureha.hiroshima@gmail.com

【 付録 】

在宅リハビリテーション研究会演題発表キーワード例

分類	キーワード	発表例
地域との関わり	転倒予防・介護予防・社会資源の活用・ボランティア・患者家族会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業参加者へのアンケート結果 ・地域包括ケアシステムを見据えた地域高齢者と理学療法士の取り組み
介護保険におけるリハビリテーション	訪問・通所リハビリテーション・通所介護における機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハにおける週1回または週2回利用することでのADLの改善度 ・退院後に通所リハビリの利用を開始した期間と運動能力の改善度
生活期との連携	外来・回復期リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定等支援・管理料を算定するようになってからのリハビリ実施期間の調査 ・退院後に能力、ADLがどのようになっているかアンケートを取り調査した結果
ICF	ゴール設定・リハビリテーションプログラム作り・活動、参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFに基づく理学療法士の課題と展望 ・理学療法士の経験年数の違いが目標設定に及ぼす影響
教育と管理	人材育成・職場環境・業務管理・リスクマネジメント・施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険分野に経験年数の多いセラピストを配置することでクリニックなどの医療の現場に若いスタッフが増えている現状とスタッフへの教育方法
ADL	指導・家族教育・精神的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護度とADLと家族介護負担との関係 ・ADL予後予測の実際
福祉用具環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ・家屋調査が与える退院後の生活状況への影響 ・福祉住環境整備における理学療法士の役割
症例活動報告		<ul style="list-style-type: none"> ・発展性のある症例、活動報告 ・理学療法士の専門性を活かす報告